夕刊
新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社

舊政權時代の郵便貯金 通帳を更新拂戻す 新國家以來郵貯は躍進的激增

（奉天十三日發國通）昨年七月滿洲國に於て郵政事務接收以來屢々問題とされて居た舊政權郵便貯金は

＝當時＝ 滿洲國當局に於ては整理上預金者に對し拂戻しを爲す可く準備したが本年五月以來南京政府に於ては該貯金に對し上海中華郵務局その他支那郵務管理局（天津北平）に於て本人及代理人の申請ある場合は通帳を更新し預金記入の上拂戻しを實施せるにより滿洲國當局に於ては舊東北政權の郵便貯金の拂戻方法を變更し南京政府の貯金處理方法により處理する事に決しその旨布告した、從來滿洲國内に於ける貯金はその趣旨が徹底してゐなかつた關係上僅かに總額五十萬元に過ぎず之等舊政權預金者は何れも在支知人に依頼し預金通帳の更新を申請し既に一部は拂戻しを受けた模樣である、尚ほ滿洲國では本年五月一日より郵便貯金事務を開始したが、各地とも成績良好で新京の如きは舊政權時代に比し約五十倍の

＝激增＝ で、各地共二十倍、三十倍の成績を擧げてゐるが今後これが利用者は益々激增の動向にあり有望視されてゐる

新線視察と社員の慰問に 林滿鐵總裁北滿へ

（大連十三日發國通）林滿鐵總裁は河本理事、佐藤建設局長を同伴午後四時三十分發列車で大連發新京より飛行機でハルビン、三姓、佳木斯、富錦、拉賓線などを視察し十九日頃歸連の豫定であるが、出發に先立ち總裁は左の如く語る

別にこれと云ふ用事はない、新線視察と派遣社員の慰問でハルビンでは各方面を招待して就任挨拶をなす筈である

林總裁一行の北滿旅程

（ハルビン十二日發國通）林滿鐵總裁は河本理事を帶同して十四日午前十一時四十分新京より飛行機にて來哈、同日午後三時發のハルビン丸で佳木斯に向ひ、十五日は佳木斯に一泊、十六日同地より飛行機で出發、富錦を視察し同日中に歸着の豫定である

上半期綿布輸出高

（東京十二日發國通）紡績聯合會調査＝上半期の綿布輸出高十億三千五百十二萬平方碼で昨年下半期に比し一億八千二百六十三萬平方碼の減少で昨年上半期に比すれば二億二千五萬平方碼の增加である 尚ほ對支輸出は一億六千三百九十四萬平方碼で昨年同期は一億六千三百七十萬平方碼である

綿業會館でシムラ會議の我代表初顔合せ

（大阪十三日發國通）大阪紡績聯合會では十三日正午より綿業會館に委員會を開催し、阿部委員長よりシムラ會議代表銓衡の經過を報告し、我代表の初顔合せを行つた、十四日より代表が會議對策を打合せる豫定である

全滿鮮農の水稻は二割以上の增收

在滿鮮農の水稻の平年作は籾百六十萬石内外であるが本年度は治安の確立による歸農者の增加と近年稀に見る五風十雨の好天候に惠まれ二割以上の增收が豫想されてゐる、即ち現在鮮農の水田は全滿に百萬町步以上あり間島、遼河沿岸、東邊道、吉林、ハルビン等各地方によつて收獲高は區々であるが、一町步平均籾二石は確實と推定され、これが收獲總額は籾二百萬石（米百萬石）と言はれ、これが一般米價に及ぼす影響は少くないだらうと見られてゐる

ニューヨーク棉花市場大活況

（ニューヨーク十二日發國通）本日の當地棉花市場は大活況を呈し相場は定期八二乃至八九ポイント高となり現物は九〇ポイントと暴騰して十一仙五五と昨年一月來の高値を示すに至つた

シカゴ小麥奔騰

（東京十二日發國通）シカゴ小麥は十二日一仙八分の一乃至八分の七方奔騰した

國際砂糖協定に 我國は條件付參加と決定

（東京十三日發國通）國際砂糖協定につき英國側より我國に參加を勸誘して來たので我國の糖業者は本日午後一時緊急會議を開き協議の結果、日本糖業は國内重要商品であり輸出減と云ふを得ないが「過去一年の輸出量を限度とする輸出を認めるなら參加する」との條件付で受諾するに意見決定し、商工省に通達したので商工省では外務省を經て松平大使に回訓した

奉天旅館業者が旅行會を作る

（奉天十三日發國通）奉天旅館業組合では旅行趣味の親睦並びに旅行趣味の向上を圖る爲め今回會員四十名を以て奉天旅行會を組織し十二日大丸旅館に於てこれが發會式を擧げ會長に大竹旅館主大竹孝助氏を決定し、商工省に通達したの

大同二年度歳出豫算の瞥見（四）

滿洲國の、產業開發は勿論、實業部豫算面に現はれたのみではなく日滿當局で鋭意研究中の所愈々今夏を期して實行に入るべく既に着手せる七統制主要產業、即ち（一）滿洲石油會社（二）滿洲炭坑會社（三）マグネシウム會社（四）硫安工業會社（五）滿洲電氣會社（六）滿洲採金會社（七）酒精會社 及び目下計畫中に屬し近く實現を期待されて居る（一）森林開發會社（二）勸業銀行（三）馬匹緬羊事業（四）製鹽事業及び最後に重大な農地開拓會社等、悉く日滿合辦、日本側の資本供給に對し滿洲國側が現物出資を爲す筈で、之が建設の曉には、滿洲には一の新たな統制主義經濟体制の實現を見る事となろう

然し乍ら、滿洲國政府中、直接生產に關係ある實業部並に交通部中、交通部は電信電話會社の設立及び滿鐵委任經營による鐵路總局の創設ありて路政、航政の監督行政機關となりたる結果、歳出全額の一四％に止るは止むを得ないとしても、一方「農を以て根幹と爲す」（滿洲國經濟建設綱要第五農業の開發、三月一日發表）農業國滿洲により「農產の改良增殖」「農業經營」「農業施設」等の農業改策は日滿當局の資本的活動と共に三千萬農業民衆にとつて、滿洲國產業政策上、益々重大な意義を有するに至るべきもの「商業の助長」と共に、之が局に當る實業部は決して單なる認可行政官廳たるに止る可きに非ず、この意味に於て實業部本年度歳出豫算の增加傾向こそ蓋し大いにその結果を期待されねばならぬ

左に大同二年度實業部豫算を元年度に比較して示せば次の樣である

△實業部所管	二年度（千圓）	元年度（千圓）
△經常部		
實業本部	七二一、八	四〇三、三
俸給	四六六、九	三二一、〇
事務費	二六四、九	二〇八、四
（國密費）		〇、七
商標局	一〇三、三	—
氣象觀測臺	七七、六	—
克山農事試驗場	三〇、四	—
森林事務所	六二、五	—
獸醫養成所	四一、八	—
奉天漁業		—
商船總局	一五九、六	—
地方勸業費	三七八、七	—
各項支出欵	六、五	—
合計	一、五三二、五	四三四、五
△臨時部		
產業助成費	九五、〇	—
栽棉棉花獎勵費	九〇、〇	—
獸疫豫防費	三〇、〇	—
產業調查費	八〇、〇	—
氣象臺及觀測臺設置費	九六、九	—
克山農事試驗場設置費	六八、五	—
森林事務所設置費	七一、九	—
權度法施行費	七一、一	—
滿洲產金會社出資金	一、二五〇、〇	—
參加大連博覽會	三五、〇	—
曆編纂費	一三、〇	—
合計	一、八八九、一	—
總計	三、四二〇、七	四三四、五

責は印度政府にあり 東印度棉花協會の要求に回答

（東京十三日發國通）大日本紡績聯合會は曩に東印度の棉花協會から印棉不買決議取消要求の電報を寄せて來たのに對し、印棉不買の責は印度側にありとて十二日大要左の如き返電を發した

抑も當會をして印棉買入停止と云ふが如き非常手段に出でざるを得ざるに至らしめたのは印度政府が我國に對し一回の商議をせず、突如として日印通商條約廢棄を通告し日本綿布に對し殆んど禁止的の重税を課した結果であつて、その責は印度政府が負ふべきものであることを承知せられたし、故に印度政府に於て翻然その態度を改めるに於ては我々は印棉買入停止の決議を撤回するに吝でない、而して印棉買入停止の決議が無いとしても現在に於けるが如く本邦綿布に對し禁止的高率の關税を附課するに於ては對印綿布輸出杜絶の結果、我國の印棉買入れが激減することは當然の歸結である

我國の印棉不買に對し 英國で購買力增進を研究

（東京十三日發國通）我綿業者が印棉不買を決議して印棉の前途重視される折柄在ロンドン松山商務官發電に依れば十二日マンチエスター商業會議所ダヤクソン委員長は印棉調査委員會の席上研究の結果印棉の需要增加の確信を得た何等かの市場助成機關を設置し機械の改良を加へれば、ランカシアーの邦棉購買は增加仕樣とか說し、注目さる

關東軍獸醫部長會議

關東軍獸醫部長會議は渡滿獸醫總監を迎へ十三日午前十時大使館會議室に開催された、會議事項は軍馬、軍犬の改良訓練並に衛生に關する諸問題につき協議を行つたが明日も引續き開催の筈である

珠玉を碎く

吉井勇
（高根秀浩畫）

（五十六）

夜咲く花（三）

『お澄さんを……』

お葉はわざとさう訊き返すやうに言つてから、

『お止しなさいよ。あの人呼んだつてつまらないわ。いつもむつつり默つてゐるんだから、とても話にならないわよ』

が、大貫はそんな言葉は耳にも入れずに、むしろ命令するやうな調子で言つた。

『しかし呼んでも來ないつて譯ぢやないんだらう。それなら呼んで來たらいゝぢやないか』

さう壓し付けるやうに言はれると、お葉はむつとしたやうに頬を膨らして、

『それぢやあ呼んで來るわ』

と何かたき付けるやうに言つてすうつとお澄のそばへ近付いて行つた。そしてエプロンのカクシからチップの紙を出して何か鉛筆で書込んでゐるお澄に向つて、明かに反感を含んだぶつきら棒な調子で、

『あのね、お澄さん、大貫さんがちよつといらつしやいつて……』

お澄はちよつと顔を上げたが、

『大貫さん……。あたしそんな方知らないわ』

とひどく無愛想な返事をした。

と、お葉は小憎らしいといつたやうな目付で、ぢつとお澄の横顔を見据ゑながら、

『知らないはずないわ。だつてあんなにみんなが大騷ぎをしてゐる人ぢやありませんか』

『だつてあたし知らないんですもの……』

『しかし知らなくたつて、こんなところに居れば、お客に呼ばれたら行くもんよ』

『えゝ、しかし……あたし厭だわ』

お澄の顔には蔑むやうな冷たい色が微に動いた。お葉は何か言ふのを待ち受けてゐるやうに暫くぢつとお澄の口元のを見詰めてゐたが、やがて音を立てないほどの舌打をして、大貫のテーブルの方へ戻つて行つた。

『駄目よ大貫さん。そんな方知らないから默だつて言ふの』

この言葉を聞くと大貫の顔は、急にイキ〳〵とした輝きを帶びて來た。猛獸が獲物を狙ふ時のやうなもの欲しげな光が、ちろ〳〵とその瞳の底の方で閃いてゐた。

『ふうん、默だつて言ふのかい』

彼はちよつと呻くやうに言つてから、せゝら笑ふやうな冷笑を浮べて、

『お葉さん、氣の毒だがもう一度行つて呉れたまへ。僕はあの女が、このテーブルに來ないまでは歸らないよ』

お葉がお澄を呼びに行くと同時に、このテーブルを取り圍んでゐた大勢の女給は、反感や嫉妬失望やいろ〳〵の表情をしながら、すうつとみんなそれ〴〵受持のテーブルの方に行つてしまつて、今ではお葉が一人殘つてゐるだけだつた。がお葉ももう一度呼びに行けと言はれると、少しむつとしたやうな顔付になつて、

『お止しなさいよ。見つともないぢやありませんか。そんなに幾度も幾度も呼びにやるなんて……。大貫さんともあらうものが、あんまり意氣地がなさ過ぎるわ』

が、大貫はそんな言葉なんか肯き入れなかつた。そしてやつぱりさつきと同じく命令するやうな調子で、

『まあ、いゝからもう一度呼びに行つて來て呉れたまへ。見つともなくとも、意氣地がなくとも、そんなことは僕はかまはないんだから……』

お葉はさう言はれると仕方なしに、またお澄のところへ出掛けて行つた。

十二時は疾うに過ぎてしまつてゐたが、このカフエーの中には、まだ大勢の客が殘つてゐた。杯や皿の觸れ合ふ音、ナイフやフオークの鋭い閃き、醉ひ痴れた濁聲、甲高な笑ひ聲──そんなものがこの中の空氣を、いやが上にもむせつぽくした。頬に觸れる女達のいきれさへ熱かつた。

密雲の一角に突如 滿洲國合体運動の烽火揚る
縣政自治を絶叫し 五色旗を揚げ大同年號を用ふ

〔承德十三日發國通〕停戰交渉成立に伴ふ皇軍の關內撤退を目前に控へ、密雲の一角に突如滿洲國合体の第一歩とも見るべき縣政自治運動が擡頭して來た、即ち學良軍閥の迫害に泣いた密雲縣民は皇軍の關內進擊を機會として縣政自治を確立すべく計畫を進め治安維持會を組織し、目的に至る一段階としてゐたが今次の停戰條約成立により再び支那軍來らざる事明白となつた爲め、計畫は具体化し、去る二十二日同地に於て縣民大會開催され、官吏代表、商務會代表、農民代表等二百三十餘名集合

一、治安維持會を即時解散し、縣政を復活し舊軍閥の搾取を排擊す
二、日本軍の永久駐屯を請願し、且鈴木部隊長に對し感謝狀を贈呈す

の二項を決議し、我駐屯軍に鈴木部隊長を訪問請願書並びに感謝狀を寄せた、右運動のリーダーは密雲縣長として衆望を集めてゐる何榮耀といふ六十二歳の老人であるが同人は滿洲旗人の流れをくみ、日本軍來るの聲を聞くや直ちに青天白日旗を下して之に代ふるに五色旗を以てし、年號も縣民に命じて大同と改めさせ、今日に至つたものであるが今や縣下を通じて親日滿的氣運漲り、この縣政自治運動が滿洲國への合体運動に轉換するのも最早時期の問題として各方面の注目を惹いてゐる

南京政府 戰鬪機卅六台を米國に註文
三ケ月內に引渡し完了か

〔東京十三日發國通〕南京政府が米國カーチス飛行機會社へ戰鬪機購入の契約をなしたとの報は各方面で注目されてゐるが、十一日ニユーヨークヘラルド・トリビユン紙上に於て同社副社長ライト氏は左の如く述べてゐる

過般支那政府の註文に依りカーチス式單複式戰鬪機三十六臺をバツフアロー工場で數日中に第一回積み出しを行ふ事となつたが右契約額は百萬弗で三ケ月以內に全部引渡し完了の豫定である、支那政府は曩に二十臺の練習機を購入したが一時にかゝる多數の戰鬪機を購入するのは始めての事だ

荒木陸相に ペルー共和國より最高勳章を贈る

〔東京十三日發國通〕南米ペルー共和國では今回荒木陸相に對し同國最高のソルデペルー勳章を寄贈することになり駐日代理公使レニベツク氏は十三日正午陸相官邸に該勳章を傳達するところあつた

駐日佛大使 シリア高等辨務官に轉任

〔パリー十三日發國通〕本日の佛閣議で駐日佛大使マルテル伯をシリア駐在フランス高等辨務官に轉任せしめる件が可決された

渡英の途に エドワーズ氏

〔東京十三日發國通〕滿洲國政府顧問エドワーズ氏は十三日午後横濱出帆の淺間丸で米國經由英國に赴いたが、同氏は滿洲の親善使節として滿洲國に對する歐米諸國の誤解を一掃せしめると共に、國家の基礎漸く固まりつゝある滿洲國の近況を説明せんとするので滯英一ケ年にして再び滿洲國に歸る筈である

李際春軍の一部を保安隊に改編 日支代表唐山に向ふ

〔天津十四日發國通〕義勇軍處置問題につき支那側委員薛士圻、雷壽榮並びに日本側代表柴山中佐は本日午前九時天津東站發唐山に向ふことになつた、出發に先立ち薛士圻氏は語る

李際春軍一萬人の中四千人を殘しこれを保安隊に編成の筈で駐割地帯は灤縣豐潤に決定してゐる、六千餘人の解散費は約二十三萬元で既に準備が出來てゐる、秦皇島附近の石友三部隊の解決については目下協議中であるが之は其半數三千に足らず解決容易だと思ふ

高橋實業部總務司長 十三日東京へ

高橋實業部總務司長は十三日午後四時半發東京に向つたが農林省、拓務省、商工省との間に於ける事務打合せの爲であると

山口ウラジオ總領事歸朝

〔敦賀十三日發國通〕ウラジオ總領事山口猛太郎氏は外務省と打合せの爲本日午後一時天草丸で歸朝したが、日ソ間の諸問題に關しては口を緘して語らない

來京した林總裁 飛機で哈市へ 佳木斯方面を視察

林滿鐵總裁一行は十四日午前八時來京、直ちに大和ホテルに入り少憩のうへ午前十時發飛行機でハルビンへ向つた、一行は河本理事、佐藤建設局長、西脇、中島兩秘書その他で着哈後、同日午後三時發ハルビン丸で佳木斯に向ひ、十五日夜十一時佳木斯に一泊、十六日同地より飛行機で富錦を視察し同日中にハルビン歸着の豫定である

警察官の異動發表

新京警務局では十三日左の如く警察官一部の異動を發表した

小崗子警察署勤務警部補 猪股與惣治　任警部命新京警察署勤務
四平街警察署勤務警部補 品川博隆　任警部命開原警察署勤務
開原警察署勤務巡査部長 森登　任警部補命鐵嶺警察署勤務
沙河口警察署勤務巡査部長 牛塚與市　任警部補命四平街警察署勤務
鞍山警察署勤務巡査部長 二重長太郎　任警部補命小崗子警察署勤務

北鐵讓渡價格 滿洲國側一億圓讓歩説に 外務省打消聲明

滿洲國側は八千萬圓乃至一億圓迄讓歩して、權利買收の用意ある旨流布されてゐるが右に就き外務省は大羽情報部長談の形式で十三日左の如き聲明を發表した

北鐵交渉に就いてはソ滿國側より夫れ夫れ提案をなし商議繼續中であつた、日本當局としては未だ公式にも非公式にも双方の當局に對して何等交渉斡旋をなしてゐることなく、日本政府は會商に對して單にオブザアヴアーを出席せしめたるに過ぎない我が當局は價格其の他に就いても目下のところ未だ斡旋の時期に達したと認め得ない際つて未だ合つて妥協の條項に就いて考慮した事實なし

英國公使館附武官 スチユワード大佐來京

各方面注視の內に北滿視察中であつた上海英國公使館付武官兼極東情報部長スチユワード陸軍大佐はハルビン英國總領事との打合せを終り、十三日午後三時二十五分ハルビンより來京、小憩の後四時三十分發の列車で奉天に向つた

天津の酷暑 百度を突破

〔天津十三日發國通〕當地の暑さは益々激しく本日午後一時の温度華氏百二度六分を示した

その日く

□密雲の一角に突如滿洲國合体運動起る、王道の光風に靡く
□南京政府戰鬪機卅六台を米國に註文、東亞全局の護りのためならばよし
□滿支停戰協定を破りドロンに入る、假借の要なし斷乎潰滅すべし
□北滿水災救濟彩票を重ねて九回、慾心を起すにはあらねどなかなか當らぬもの

所有權問題打切り 讓渡價格と貨幣相場算定に 交渉愈々技術的性質を帶ぶ
北鐵讓渡交渉進展

〔東京十四日發國通〕北鐵交渉のソ滿兩代表は今迄の休會中夫々多邊的折衝を續け十三日はソヴイエツト大使館參事官スピルワチラク氏が外務省に東郷歐米局長を訪問、時餘に亘り懇談する處あつたが、右の結果十四日の會議は所有權問題は一と先づ打切り只單に讓渡價格の交渉に移る諒解を遂ぐるに至つた、即ち讓渡の際に得たと同樣ルーブル支拂に對しソ滿兩國が特別の協定を行ふ事等に亘る討議を行ふ筈だから會議は技術的性質を帶ぶものと觀られて居る

〔東京十四日發國通〕北鐵讓渡につき滿洲國は五千萬圓を主張しソ聯側は二億五千萬金ルーブルを支持して全面に交渉停滯の折柄我外務省が積極的斡旋に乘出した

價格に就ては滿洲國側は五千萬圓、ソ聯側は二億五千萬金ルーブルを夫々主張して居るが、今後の會議では
一、兩國價格の算定基礎
一、評價貨幣の相場を如何にするか
一、ソ聯側の主張する金ルーブルを其儘受諾するは滿洲國側の到底容認し得ざる處なるを以て日ソ滿區料支拂

駒井前參議 昨夜發內地へ 驛頭盛んな見送り

九・一八事件以來東奔西走滿洲國の建國に際しては側面的に大いに貢獻し建國の基礎定まるや病を得て職を辭した駒井德三氏は各方面さも別離の挨拶を終へ、十三日午後十時發列車で小磯參謀長、多田少將、橋本憲兵司令官等日滿要人連の哀惜裡に一路歸國の途に就いた

趙欣伯氏 渡日の途に就く

我國憲法制度調査研究の爲渡日する立法院趙欣伯博士は隨員十七名を帶同十四日午前九時發列車で小磯參謀長、橋本憲兵司令官、多田少將其他日滿要人の見送りを受け一路渡日の途に就いた

北鐵蘇聯幹部 從業員と密議 十一日寬城子で

北鐵問題をめぐつて滿蘇兩國の感情尖銳化の折柄北鐵管理局總務課長ジヤコーエフ外五名は十一日夜密かにハルビンより寬城子に到着、從業員幹部と何事か凝議した上十二日夜歸哈したが北鐵問題に關し蘇聯側從業員の結束を固めるためと見られて居る

孫省長就任式擧行

〔チチハル十三日發國通〕一昨日來任した省長孫其昌氏は十三日午前松木〇團長、內田領事、義我特務機關長を訪問、着任の挨拶を爲し午後三時省政府にて日滿要人多數參列の上型の如く省長就任式を擧行した

奉天特務機關附 千田大尉東京へ轉勤

〔奉天十三日發國通〕奉天特務機關付騎兵大尉千田盛將氏は東京轉勤を命ぜられ、八月上旬赴任することゝなつた

北支政情の變遷につれ
各國通信記者平津地方集中

日支停戰協定成立後北支政治の中心が北平、天津に移つた爲め各新聞通信記者はこれにつれ一齊に平津に移らんとしてゐる即ち

一、英國ルーター通信社は從來の上海に於ける極東總本部を北平に移し芝罘、ハルビンの從來の支局の外大連奉天、新京、青島に支局を設置すべく極東總本部長チヤンセラーは既にこれが打合せの爲め歸國の途に就いた
二、米國アツシエート・プレスでは奉天特派員ミールスを北平に特派する模樣である
三、ソヴイエート政府國營タス通信社では既に奉天特派のスレパクを北平に出張せしめ新たに奉天、新京に本社より通信員を派遣する
四、米ユナイテツド、プレスは目下調査準備中
五、獨逸ターゲブラツト紙も同樣北平に支局を設置する筈
六、ニユーヨーク、タイムス紙奉天特派員スチールは六日下旬北平に出發し、後任の奉天特派員には元奉天商務補佐官ペーチタが決定した

米國大統領に空軍の大擴張を進言
民主黨の一議員から

〔ワシントン十二日發國通〕アラバマ州選出民主黨議員と南カロライナ州選出民主黨議員マクスンの兩氏は十二日大統領に對し飛行機九百臺を建造、大空軍建設を進言したが、その提案理由としては、產業復興法に計上された卅三億弗の豫算中一億二千萬弗を國防充實に充當し、陸軍機九百臺を新たに建造すべきである、これにより米國陸軍は一九二六年度空軍建設計畫に基く飛行機一千八百臺の建造を得る事となるうと、ル大統領は右提案に就き考慮中だと云はれて居るが軍縮會議の成行を見た上で何れ共決定するものと觀られて居る

鐵道の破壞や 罷業、暴動等を計畫
北鐵ソ聯從業員協議

北鐵讓渡問題に關しソヴエツトに國籍を有する從業員等は數日來各地と聯絡をとり秘密裡に賣却反對の策動をなしてゐるが九日ハルビン管理局ジヤゴフ總務科長はひそかに來京し十一日寬城子從業員幹部四名を招集して秘密會議をなしたがその內容はもし北鐵讓渡問題が尖銳化する場合における手段方法として

一、共同罷業斷行
二、有機的暴動の指導
三、鐵道破壞方策に關する件

その他二三を協議したもので今後の成行は極めて重視されてゐる

ラジオ欄

十五日（土）新京
奉天後 四、〇〇 相場 レコード
新京後 四、三〇 商業通信社 演藝
同後 五、〇〇 講演 關於建設都計畫 國都建設局長 阮振鐸
同後 五、三〇 滿洲語 ニユース
東京後 六、〇〇 東京中央放送局編輯 ニユース
新京後 六、二〇 （滿洲語） 語學講座
同後 七、〇〇 （日本語）八、四〇 ニユース
同後 七、一〇 英語 ニユース
同後 七、二〇 朝鮮語 ニユース
同後 七、三〇 氣象、放送局編輯及 ニユース

新京市況

大豆 現物 出來高
高粱 出來高
▲錢鈔（現物）
沙票對金票
現大洋對金票
奉票對金票
哈大洋對鈔票
▲大連株式
▲同短期
▲大阪

琴平丸拿捕事件

保證金を納入せば釋放の用意あり

ソ側と折衝の結果ソ側表明

【東京十三日發國通】琴平丸釋放に關してペトロの緒方領事は、その後ソ側官憲と折衝中であるが十三日外務省に到着した報告に依れば、ソ聯代表は漁期に直面せる際、徒らに漁船を抑留せしめるは漁期を逸するが故に、琴平丸の領海內侵入の違法は別に裁判に附するとしてその間保證金を納入すれば船体、漁具を釋放する用意ある旨を述べた、これに對し緒方領事は

一、若し取調べの結果、琴平丸が三浬以外にあつたことが判明した場合には保證金を返還すること

一、抑留に依つて生じた一切の損害賠償の責に任ずべきこと

の二條件を提出した、右に對し未だソ側の回答には接せざるも目下善後策を協議中である

取調の結果

領海侵入の事實なし

【函館十三日發國通】琴平丸問題に就き緒方領事とソ聯側代表との間で係船神武丸や八幡丸につき調査の結果、琴平丸の拿捕された所はセボン岬を去る二十浬の沖合であり、領海侵入でない事が判明した結局ソ聯側は釋放する模樣である

多大の効果を收め

全滿衛生會議終る

第一回全滿衛生會議は民政部衛生司主催の下に七月十、十一の兩日に亘り新京大同自治會館に於て臧民政部總長、竹內總務司長、長尾警務司長、張衛生司長以下各省代表者五十餘名參集、第一日目は午前九時から葆次長の挨拶、臧總長の訓示、衛生司長の講演あつてのち會議に入り第二日は諮問、協議事項を付議、午後四時終了したが會議の結果は滿洲國內に於ける衛生施設の革新、刷新上多大の效果あるものとして各方面より期待されてゐる因に兩日に亘る會議の議案付議事項左の如し

△第一日

一、指示事項

(一)阿片事務の主管に關する件

(二)阿片吸引者の證に關する件

(三)小賣人の指定促進並に阿片關係報告に關する件

(四)醫藥關係並に衛生團體調査の件

(五)飲食場及び淸涼飲料取締の件

(六)汚水處分並に廁改善の件

(七)一般防疫の件

二、諮問事項

(一)共同防疫暫行辦法制定の件

(二)汽車檢疫規則の件

(三)コレラ豫防暫行の件

(四)淸潔法の件

△第二日

一、諮問事項の件

(一)家畜傳染病取締規則未施行期間に於ける主なる本處防遏の件

(二)魔睡藥の件

(三)藥品取扱の件

(四)公醫設置の件

(五)衛生思想普及對策の件

二、各省の提出事項

(一)ペスト、防疫の件

(二)痘疫の件

(三)警察醫院擴張の件

(四)コレラ豫防に關する件

(五)法定傳染病に關する件

澄宮殿下

騎兵科に

【東京十三日發國通】目下士官學校豫科第二中隊に御在學中の澄宮殿下には騎兵科に籍を置かれる事に御決定明春三月御卒業と同時に士官候補生として近衛騎兵聯隊か騎兵第一聯隊の孰れかに御配屬の御模樣である

圓滿解決

松竹レヴィユー爭議

【東京十四日發國通】一ケ月に亘つた松竹レヴィユー爭議は十四日午前一時に至り漸く解決、爭議團側の解雇絶對反對の根本要求が容れられることになつた

城內の內鮮人

五千五百餘名

五月末に比し三百名を增加

六月現在に於る總領事館の調査に依れば城內の日本人(內鮮人)總人口は五千五百六十九名、內々地人男千八百七十八名、女千二百三十九名、朝鮮人男千三百六十七名、女千八十五名、總戸數は千四百三十三戸で、五月末現在の調査に比して總人口に於ては三百二十名を增加してゐる、內々地人男百九十三名女百三十名增加し朝鮮人男二十名增加し朝鮮人女二十三名の減少を示してゐる

大黑河の奧深く照す

王道政治の陽光

【チチハル十三日發國通】最近大黑河及その上流呼瑪地方を視察者の歸來談に依れば

一、チチハル、大黑河間は昨年の水災に對する救濟宜しきを得、且匪賊が日を追ふて減少すると共に、皇軍に感化され江省軍隊の規律が嚴正となつたので、一般人民は心から滿洲國の王道政治に歸いてゐる

二、大黑河より上流呼瑪に至る沿道の人民は交通不便の爲め今尚ほ滿洲國に就いて充分に了解してゐないが、やがて政治工作の進行と共に、王道政治の眞髓を了解するやうにならう

三、大黑河呼瑪地方はソ側の物資缺乏の爲め生活の安定を得んとしロシア婦人の滿洲國人の妻となるものが多い、ソ聯官憲は河岸各部落にボート、モーターボートを配置して露人の逃亡を阻止しをれり

四、大黑河呼瑪間のソ聯側沿岸には各所に防禦工事を施しつゝあり、且目下盛んに工事中である

安東海邊警察隊で

船舶自衛銃砲火藥取締を公布

【奉天十三日發國通】鴨緑江警察隊並びに安東海邊警察隊に於ては山東、上海方面より入滿する船舶の銃器取締りに關し何等の規定なきを以てこれが取締規則を今回公布した

船舶自衛銃砲火藥類取締規則

一、十噸以上二十五噸未滿(イ)ピストル一挺、彈丸百發、船長所有のもの(ロ)小銃五挺、彈丸一挺に付き百發(ハ)砲三門、一門に付き彈丸三十發

二、二十五噸以上五十噸未滿(イ)前號に同じ(ロ)小銃八挺、彈丸一挺に付き八發(ハ)砲五門、一門に付き彈丸三十發

三、五十噸以上(イ)前號に同じ(ロ)小銃十二挺、彈丸前項に同じ(ハ)砲八門、彈丸前項と同じ

自衛銃砲火藥類所有船舶は滿洲國各港に入港した時は船長は直ちに銃砲火藥類數量を所轄警察官憲に屆出づること

歷史的開通式

東京京城間通話

けふ華々しく擧行

【京城特電】我國通信事業界に歷史的記錄を印する本格的內鮮連絡電話京城、東京間を結ぶ通話開始記念開通式は愈々十四日午前十一時より京城郵便局々長室と東京中央電話局會議室とを一本の電線に依つて結び華々しく擧行することとなつた、遞信局では當日總督府各局長、軍首腦部、銀行會社、新聞通信社各代表、官民有力者凡そ百名を招待、式場たる京城郵便局々長室には午前十一時半までに參集し專門家の工事報告、說明等があつて定刻より愈々電話交換に入つて總督府並に東京兩遞信局長の挨拶に始まり南遞相若くは永井拓相の祝辭に宇垣總督が之に應へ牛塚東京市長には井上京城府尹が應へ更に東京、京城兩商工會議所會頭の祝辭交換終つて一般來賓中より交々試驗通話を行ひ同四十分頃閉式の予定で式後今井田總監は一同を朝鮮ホテルに招待午餐を共にし歷史的電話開通の第一日を記念する事となつた

六教授免官で京大生又騷ぐ

文部省彈壓を加へん

【京都十三日發國通】京大法學部六教授の免官で俄然硬化した大學生運動に對し文部當局は斷然彈壓に乘り出す思想係の木村督學官は十二日夜入洛十三日その具体的方針を決し更に文部當局と打合せを行ふこととなつた、その結果一兩日中に大彈壓あるものと觀られてゐる

京大法學部

一時閉鎖再組織の外なし

【京都十三日發國通】松井總長も各教授の意外に强硬なのに匙を投げ法學部全殘留組教授の辭表申達を決意し法學部の一時閉鎖は今や不可避となつた、松井總長は今明日中東上し愈々文部省に正式に殘留組教授の辭表を申達すると共に法學部再組織に就き文部省當局と協調を遂げることになつた、尚ほ再組織なるものは非常時の故を以つて名譽教授織田萬博士の蹶起を促して見る模樣である

大塚元商大教授

懲役四年求刑さる

【東京十三日發國通】元商大教授大塚金之助氏にかゝる治安維持法違犯事件第一回公判は東京地方裁判所で午前開廷は檢事より訴訟事實を陳述の後大塚氏は合計千百余圓を共産黨擴大强化のための資金として提供した事實を認め、次で共産黨に近付くに至つた經路に就いては、苦學して學校に行き神戸高商を卒業の際父の悲報に接し、以來家族五人を抱へ收入もなく、心の余裕もなかつた事が斯る結果に深入りしたと思ふと述懐し、現在の心境に就いては將來共學問的研究により社會に立ち度いから保釋を許されたいと衷情を訴へた、それより檢事の峻烈な論告あり、懲役四年を求刑した

五・一五事件

公判準備終る

【東京十三日發國通】五・一五事件海軍側公判は廿四日より橫須賀の軍法會議で陸軍側は第一師團軍法會議で開廷する事に決定、陸海軍共左の通りと公判準備全部終了した

△海軍側　判士長海軍大佐高須四郎、判士海軍少佐大和田昇、海軍大尉木坂義胤、海軍大尉篠尾勝夫、高額寺檢察官、鹽見茂樹、辯護人塚崎直義、淸瀨一郎、福田倉文司、林一郎、特別辯護人淺田大尉、淸水中尉

△陸軍側　判士長砲兵中佐西村琢磨、判士平川步兵大尉橫田步兵中尉、谷步兵中尉島田法務官、影坂檢察官、辯護人大角少佐、細見少佐中村少佐

シカゴ訪問の伊太利飛行隊

難コースを見事征服

【カナダ十二日發國通】十二日午前六時アイルランド、ライキャビックを發し北太西洋橫斷の途に就いたシカゴ訪問の伊太利飛行隊二十三機は千五百哩の難コースを一氣に征服十二日零時三十分ブラトル海岸のカートライトに着水した

李守信軍破れ

馮玉祥軍土倫に雪崩れ込む

日支停戰協定違反で關東軍斷乎處置か

チャハル省內の土倫は事變以來抗日軍の物凄い跳梁の爲一時は見る影もなく荒れ果ててゐたが李守信が部下約四千を率い土倫の治安維持恢復に就いてより漸次舊態に復しつゝあつたが去る五日馮玉祥のあやつる抗日反滿の吉鴻昌が北路總指揮官となり蘇炳文の舊部下、鄧文、檀自新及劉桂棠の部下一部約八千の兵がドロンノール南端約三十キロ附近に接近し七日より十日迄四日間連續的に攻擊を開始し來たので李守信は僅か四千の兵を以て頑强にこれに抵抗しドロンを死守してゐたが連日の交戰の爲十一日遂に彈藥がつき果て戰鬪不能に陷つたので止むなく十一日夜自由退却をなし熱河省內に逃入したので馮玉祥軍約三萬の兵はドロンになだれ込み再び治安は攪亂された我關東軍に於ては停戰協定の決議を破つた馮の行爲に對し支那側に嚴重なる抗議をなし場合によつては斷乎たる處置に出る模樣であるなほ馮は露西亞の共産黨と通じ盛に共産主義の宣傳に努めてゐると

世界一週家

滿洲里から引返す

世界一週の旅に在る朝鮮人靑年柳利根君は去る六月十日滿洲里に到着した處ソ聯官憲の入國阻止に遭ひ已むなく汽車で引返し十四日新京に到着今度は奉天上海を經て南洋方面に赴くと十四日本社を訪問して語つた

殖ゆる

各種稼業者

新京署保安係で六月中に許可した稼業者の數は三百九件の多きに達してゐる、この內藝酌婦百人、女給、雇婦女百二十人、その他露店營業、物品行商で、前月に比して約一割の增加となり全各警署では第一位を占めてゐる

體育聯盟へ

申合せて寄附

京鐵逸早く申込み

新京體育聯盟の事業資金募集に際し同聯盟の趣旨に贊成して新京鐵道事務所では靑木所長始め所員申合せて醵金することとして十三日逸早く金七十圓(うち同聯盟相談役靑木信一氏から金廿圓)を取纏め同聯盟に寄附した、聯盟では鐵道事務所の全く自發的行爲に痛く感激し謝意を表してゐる

第九回彩票

一等一九〇八八號

新京のハルビンに

北滿水災救濟彩票第九回抽籤は十四日午前十時から城內商務總會で係官立會の下に行はれた、結果は左の如くである

▲頭彩中新京松尾代賣店乙ハルビン許安仁

▲二彩甲新京松尾代賣店乙ハルビン許安仁

▲三彩甲新京松尾代賣店、乙奉天榮商會

等級	番號
頭彩	一九、〇八八
二彩	三九、八四六
三彩	一五、〇九〇
四彩	三、六九五
同	一二、四二七
五彩	三三、九〇四
同	三二、二三八
同	二八、〇〇八
同	二五、三九九
同	一五、二〇三
同	一三、六八九
同	五、五〇三
同	三、四七五
六彩	二、七六二
	八、四二八
	一〇、七八三
	一五、五〇三
	一五、五五三
	一五、八四四
	一五、八九八
	一五、九三一
	一七、三八一
	一七、五四七
	二〇、〇八一
	二二、四三四
	二九、七八七
	二六、一七七
	三一、三一八
	三五、〇一五
	三九、四九四
	四〇、〇〇九
	四四、四九八
	四四、五三八
	四四、七七六
	四五、〇五三
	四六、四二九
	四七、六七六
	四七、二〇一

故坂田大佐

遺骨內地還送豫定

一、遺骨は二十一日門司着二十二日神戸着、爾後陸軍省の計畫に基き取り敢えず東京に移送せらるゝ豫定なり

十七日午前九時(鳩)新京發　同午後一時三十分奉天着　一泊

十八日午前七時奉天發　同午後四時四十五分大連着　一泊

十九日午前十時ウスリイ丸にて大連出帆

備考

一、遺骨は小林參謀(雇員一を附す)之を內地迄奉送す

けふの銀相場

鈔票對金票	105.40
現大洋對金票	100.65
國幣對金票	103.65
國幣對鈔票	98.40

早大陸上選手

來京

數名のオリムピツク選手を擁する早大陸上競技部中島主將以下二十四名は、京城、大連ハルビンと鮮滿遠征の旅を終へ、十四日午後三時二十五分ハルビンより來京、愈々十六日午後二時より西公園競技場に於て滿洲國並に在滿邦人二チームと對戰、フィールド

馬車馬狂奔

親子二人落ち重傷

けふ午後東一條通で

十四日午後〇零時五十分頃新京曙町四丁目奧村主計(四三)同長男常雄(一六)は客馬車にて東一條通三十二番地先を通行中何物にか驚いた馬が狂奔し馬車を顚覆し親子とも人事不省に陷つたのを通行人が滿鐵醫院に運び應急手當を受けしめ一方警察に急報馬車夫を引致取調中であるが馬車番號は三千百十二號である、尚奧村氏の傷は右頰と前頭部、常雄君はロテフ骨と左鎖骨に何れも重傷である

全新京ア式競技會

廿日滿洲体協支部主催で

滿洲体育協會新京支部に於ては同支部主催の下に來る二十日西公園グランド(豫定)に於て全新京のア式蹴球競技大會を開催することに決定した、本大會には市、政府、學校、其他各運動團體が參加するものと見られるが新京に於けるア式競技會は最初の事であり運動ファンは今から多大の興味を以て期待して居る

早大々勝す

早大對全ハルビン陸上競技會

【ハルビン十三日發國通】早大對全ハルビン對抗陸上競技會は十三日午後四時よりハルビン埠頭區スタヂオンに於て擧行されたが、陸の覇者早大の前には日、滿、露の三國聯合のハルビン軍も手も出ず一四〇、五對八一、五で早大が勝を制した、但し競技場內狹小で殊にトラック米のストレートコースさへとれない爲、遠來の諸選手に充分なる活躍を望み得なかつたのは殘念であつた

△記錄

百米　早大　張　一一秒

砲丸投　ハルビン　アンヒノゲノフ　一一米九一

四百米　早大　中島　五五秒

走幅跳　早大　湊川　六米八二

八百米　早大　中村　二分四秒五分ノ二

圓盤投　ハルビン　アンヒノゲノフ　四一米三五

二百米　早大　中島　二三秒五分ノ三

走高飛　早大　矢田　一米八七

千五百米　早大　中村　四分一九秒五分ノ一

棒高飛　早大　西田　三米八九

槍投　早大　小林　五一米一〇

四百米リレー　早大　四五秒

生母李太夫人大同二年七月十一日午後十一時半八十歳の高齢にて歸幽致し候につき生前辱知諸彦に謹告仕候
追て來る十七日午前六時出棺同十時長春縣安龍泉墓地に埋葬致し候

大同二年七月十四日

新京東八條通

王荊山

王荊山氏母堂李氏去る十一日逝去致され候につき來る十六日午後二時新京東八條通裕昌源院內に於て追悼會相營申可く此段御通知に代へ謹告仕候

大同二年七月十四日

發起人

普潤田　呂蘭亭　中西瀧三郎　修長餘　後藤愛　孫秀三　孫笠舞

吳紹庚　田新吾　賀賜湖　楊維周　楊蓮舫　岩坂李三郎　運適夫

幕末異聞

愛慾火箭

作 瀧川駿
畫 村瀨洗舟
(上演上映禁)

(百十三)

胡蝶の賊(一)

城東、柳島村はづれ妙見寺の湯灌場の夜だつた。

妙見寺とは、横十間川と縦十間川との合した所、即ち本所の片はづれにある大根畑の中にこんもり茂つた森だつた。

その川一つ隔てゝ、向ふが寺俗に泊劍寺と呼ばれてゐる靈行寺。その隣に續いて、堀淡路津輕越中の下屋敷があつたが、ほんの ばらりとした 淋しい野原。

龜戸の天神から臥龍梅で名高い五ノ橋まで見透しの利く野ッ原なのであつた。

その妙見寺の湯灌場は、乞食の巣で一文博奕の本場であつた。

その寺へ最近現はれた、三尺に足らない兎口の傴僂男。

『おい皆なはずんでるな！』

のつそりと入つて來て、一座の人の中へ割り込んだ。

一座と言つても、皆乞食。一文二文の貰ひの賽錢を賭けた賭場だつた。

中で羽ぶりの良いのが、例の郡内の嚊。

『さあ、張つた、張つた』

莚の代りに缺け碗を使つてゐる——。

一勝負濟んだら、罷ひで貰つたと見え、景氣の好い罐詰をあふるのである。

呑めば醉ふのが酒の常、それは殿上人、高位高官から湯灌場乞食まで變りがない——。

『おい越中、一つ唄ひな……』

『おつと來た——』

越中と呼ばれた乞食、身装にも似合ない美音を張り上げて、

『缺け碗も、もとを正せば吉野の櫻——』

『ようよう』と半疊が入る。

『おゝ大變賑やかなことでござる喃、愚僧にも一杯馳走して下され』

意地穢い、おそろしく食ひ意地の張つた見廻りに來た老坊主。

坊主と言ふより墓番と言つた方が嵌まりさうな男、弓張提灯をつき出して言ふ。——

『おや、これは和尚、まあ一杯』

この坊主、乞食の上前を刎ねてゐる男なので、

『何より先に、寺錢を貰ひませうか』

何處までも抜け目がない。文錢の寺錢若干を懐に入れるとにつこりほくそ笑んで杯を二三杯ひつかけると、

『皆の衆、成るたけ靜かにして下されや、これに知れるとうるさいから喃』

親指一本つき出して言ふと、又墓石の間を縫つて歸つて行つた。

今まで默つてゐた傴僂男が、ぬつと首を出して、

『皆の衆、闘みたい事があるのだが……』

斯うその男が言ひかけた時、かさかさと芒の枯葉が鳴つて與力風の男が出て來た。

『うむ』

思はず言葉を呑んで、皆ないざり膝。

『旦那樣、何か御用でございますか？』

抜け目のない郡内の嚊が、その男に聲をかけた。

『外でもない、其方達も知つての通り將軍樣のお膝元である。當江戸を荒す盗人があるのぢや——』

『へえ』

この頃、御府内を荒し廻る、胡蝶の賊と呼ばれてゐる盗賊の一味があつた。

彼等達の仕事をして行つた後には、乾度白紙に胡蝶を切り抜いた紋紙が殘してあるのであつた。

『その胡蝶の賊の手懸りが未だに無い。もしか毎日府内にうろつく其方達、心當りがあらはすぐ繰訴へ出て呉れ、褒美はその時に大枚とらせる——』

こんな事を知み置いて、その與力風の男は歸つて行つた。

『ちエ、此處まで手が廻つてゐるのか』傴僂男は舌鼓を打つた。

七月十五日 土曜
舊閏五月廿三日
壬午 先負 閉 胃宿

●一白の人 峠は目先にあり猶一と苦勞を忍べば跡は樂 丙と亥と寅が吉
●二黒の人 盛大なる氣運にて遂げざる事なし努力せよ 甲と壬と癸が吉
●三碧の人 捨つる神あれば助くる神あり落膽せず進め 乙と庚と亥が吉
●四綠の人 幽暗の域を出で明朗の境に入りたる如し 庚と亥と寅が吉
●五黄の人 三人寄れば文殊の智惠協議の上にて進み吉 甲と庚と壬が吉
●六白の人 遠するに道なく思案に餘る日怪我病難注意 庚と辛と亥が吉
●七赤の人 股肱と頼む人を失ふことあり軽動は愼しめ 乙と庚と亥が吉
●八白の人 策士策に倒るゝ事あり小刀細工は控ゆべし 甲と辛と壬が吉
●九紫の人 油斷は禁物撓まず本業に出精するが極安全 己と丁と癸が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

第五次北鐵讓渡交涉
會商停頓原因と
ソ滿兩國見解の主なる相違點

〔東京十四日發國通〕北鐵讓渡の第五次會商は十四日午後二時外務次官々邸で開催されるが、滿洲國側は丁士源公使、大橋次長、ソヴィエート側はユレニエフ大使、カズロフスキー、クズネツオフの三氏、日本側は西歐米局第一課長、鈴木中佐、滿ソ兩國隨員が出席し、丁士源公使が司會者となり、具体問題の協議に入る、會議劈頭ソヴィエート側は所有權問題を提起の筈で、之を中心に滿ソの激論が繰返され第五次會商も具体的歸結に達せず散會するものと觀られ、北鐵問題の滿ソ主張の重大相違點は左の如し

一、所有權問題

ソヴィエート側

（甲）ソヴィエート側は北鐵は帝政ロシアが一八九六年に民國より得た建設權に基き露淸銀行が建設し改良經費は一切帝政ロシアとソヴィエート政府が支出して居る

（乙）ロシア所有權はワシントン會議で日本が承認して居る

（丙）ソヴィエート政府となつてからも北鐵放棄の意志表明せず

（丁）一九一九年カラハン宣言は北鐵處理に關し支那政府と商議する意志あるを表明せるに過ぎず、而も右宣言は支那政府に對してであり滿洲國に對してゞない

滿洲國側

（甲）ソ聯の主張は事實上の根據無く且つ帝政時代の權利放棄の宣言に對しておかしなものだ

（乙）建設費や改良費は露の資本と稱して居るが八割迄はフランス資本で大部分の債務を無視し乍ら所有權丈け主張せんとするは奇怪至極である

（丙）ワシントン會議で日本側は一方的所有權を否認したるに過ぎず

一、讓渡價格問題

ソヴィエート側

（甲）建設費と改良費とを基礎とするを要す、且つ附帶事業を無視出來ず

（乙）此見地から四億五千萬金ルーブルを大まけにまけて二億五千萬金ルーブルとした

滿洲國側

（甲）五千萬圓は新建設費を合理的に考へて居た三千五百萬圓に多少の色を付けたものだ

（乙）三十年後には無償で滿洲國に回收される點を考慮せよ

といふにある

滿洲國は既に
單獨經營の用意あり
ソ聯の不當主張に
滿洲國固き決意を表明

〔東京十四日發國通〕最近滿洲國代表は外務當局に

一、讓渡價格は五千萬圓を一歩も讓らず

一、ソヴィエート側があく迄非現實的な主張をなせば交涉を打切り各機關に既に北鐵接收の用意をさせて居ると鞏固な決意を示した事實あり、外務當局も交涉を纏める方針を放棄した模樣である

日本新聞協會員の
歡迎相談會

日本新聞協會第二十一回を滿洲に於て開催される事は既報の如くであるが大連、新京に於ける大會順序は次の如くである、八月四日より七日まで大連に於て大會を開催、八日新京着、九日新京女學校校堂にて大會を開き、宣言決議をなす筈であるが、新京に於ける各關係者よりなる歡迎委員會では十七日午後二時より總務院會議室に於て歡迎の打合をする豫定である

關東州でも
九月ごろ爲替管理を實行

〔東京十四日發國通〕關東州は今日まで爲替管理を施行されなかつたが、關東廳と大藏省の打合せの結果九月頃實施される模樣である

ソ聯邦政府の
外交政策轉向と其對日政策

エコ、ド、パリ紙は、蘇聯邦政府は軍縮會議に於て頻りに平和主義を標榜してゐる旨を指摘し、フランス政府が蘇聯政府と不侵略條約を結ぶに至つた契機はモスクワの外交政策の轉向、則ちヨーロッパに於ける革命運動より手を引き、ドイツと離れ且つ現存條約を尊重するに至つたにあると論じ、蘇聯邦政府の斯くの如き政策轉向の原因を尋ねば對外的必要に迫られた結果に外ならない則ち蘇聯邦政府は經濟的不況の結果、對外關係に於て多大なる弱味を感じたがためであつて、この間の事情は最近の日蘇關係を觀察すれば如實に諒解するであらうとて「蘇聯邦政府の對日政策」を次の如く論じてゐる

今や滿洲國は完全に滿洲を支配し、蘇聯邦は最早北滿を經て安全に浦鹽と聯絡することが不可能になつた、又新京淸津間の鐵道開通の曉は、從來浦鹽港に向けられた貨物は朝鮮に出づることゝなるべく、斯くて蘇聯邦はシベリアの一部すらも失はんとするの危險に曝されてゐるのである、これがため飽くまでも日本と良好關係を保持せんと欲し、北滿鐵道賣却の提議までもしてゐるのである。而して蘇聯邦はその周到なる用意から聯盟の滿洲國不承認決議にも加擔しなかつたばかりか、滿洲國承認の事に出づることも遠からぬであらう形勢にある、（六、七）ニューヨークヘラルド・トリビユーン紙は「侵略（アグレッション）に關する日本の見解」と題し、石井子爵が武力による他領土の侵害以外にもアグレッションなるものがあると言つたのは正當であると共にアグレッションの討議に對し一の新なる思想を貢獻したものであるとの見地から次の如き論評を揭げた

石井子爵は「アグレッション」なるものの討議に關聯し、滿洲に於ける日本の政策を正當化するに些からず效果あらしめやうと期待したのであらうが、子爵の言論はその程度にまでは至らなかつた、然し能く平和諸條約の弱點を突き且つ武力に依る他領土の侵害以外にも條約違反にして「アグレッション」なるものがあると言つたのは正當である、石井子は特に言及しなかつたが明かに支那の排外的ボイコットを考へ、之を聯盟規約及び平和條約等の内に戰爭の原因たり得べき「エコノミック、アグレッション」として定義さるべきであることを希望したのであらう

支那人は一九〇九年米國人排斥運動以來、過去二十八年間に亘り行ひ來つたボイコットは決して攻擊的のものではなく、防禦的のもので且つ日、英、米等諸列強の支那人に對する不當なる行動への報復として行つたものだと主張するであらう

故に支那は若しボイコットがエコノミック・アグレッションとして定義せられ制裁を受くるならばボイコットが表示する如き國民全體の憤怒を招く如何なる非友誼的行動も「アグレッション」と定義し處罰さるべきであると要求するであらう、たゞこゝに注意すべきは石井子が一週間前の演說に於て强調せんとしたのは、聯盟規約も平和條約も武力による以外の條約違反に對し其の違反が隣國に對し戰爭と同樣の損失と困窮を與ふるものなる場合に於ても、之に制裁を加ふべき方法を考案してゐない事實である

若し前述の如き思想[illegible]に容認されアグレッ[illegible]内に包含された場合、[illegible]後援する支那の排日[illegible]トはアグレッション[illegible]ごうか、日本が支那[illegible]に違反し、しかも聯盟[illegible]司法裁判所や或は其の[illegible]裁機關に依り何等救[illegible]が講ぜられなかつた[illegible]ては、支那のボイコ[illegible]當なる報復である、[illegible]方條約改正其の他の[illegible]の爲支那がボイコット[illegible]遂行の手段として使[illegible]合は、右は明かにアグ[illegible]ョンの行爲となり、[illegible]存の國際機關に訴ふ[illegible]救濟の方法が講ぜられ[illegible]た場合、武力に依り[illegible]

滿鐵を主體とする
滿洲の化學工業
着々として緒に就く

〔東京十四日發國通〕滿洲に於ける新規事業計畫は滿鐵を主体として製鐵工業其他着々進捗を示して居るが、最近更に輕金屬工業、大豆製油工業等に對して滿鐵が本格的に事業を開始する事となり、十二日歸京した同社顧問斯波忠三郎博士を中心に内地側と折衝を重ねることゝなつたが其主なるものは左の如し

△アルミニューム工業

滿鐵が卅五萬圓を投じて撫順に試驗工場を建設することになつて居るが、經濟的採算關係の調査研究を終へたので將來別箇の新會社を設立するか、或は既存の滿洲化學工業會社の分工場とするかを決定の筈

△マグネシウム工業

滿鐵及び理化學研究所の共同事業として山口縣宇部市に工場を設け（關稅關係により工場を内地に置く）滿洲から原礦の輸入をなし、滿鐵及理研に於て多年研究を重ねた方法によりマグネシウム製造の新會社を今年中に設立する豫定で資本金は[illegible]百萬圓程度である

△大豆製油工業

アルコール抽出法による大豆製油は、先づ大連に二、三百噸の工場を設け漸次製品需要の情勢に平行して事業を擴大して行く豫定

尚ほ過般第一回拂込みを了した滿洲化學工業會社は目下敷地を整備し機械の注文を行つて居るが、來年夏頃には[illegible]据置を終り豫定通り明[illegible]月から製品を市場出[illegible]となつて居る

蘇の手を借り
馮勢力挽回を策す
重大結果豫想さる

親日的態度を持し察哈爾の人氣を集めて居た李守信は停戰交涉成立以來多倫の更生に『努力』を注ぎ政治經濟產業等半は復舊の途上にあつたが、奸雄馮玉祥は彼を眼上の瘤とねらひ劉桂堂の寢返りに自信を得遂に多倫攻擊を決行したものである、此の戰鬪に於て馮の部下吉鴻昌聯合軍の使用せる武器、彈藥は悉く蘇聯軍隊から供給を受けたもので、最近馮は蘇聯から指導員を招聘共產主義の宣傳を行ふと共に、自身同主義を說き廻り察哈爾の赤化を計畫して居たもので彼の背後にソ聯の合作あることは明白である半面彼は反滿抗日、打倒國民政府のスローガンを揭げて居るもこれは手段で實は日本軍に他意なしと稱し居るも、彼の反覆常なき過去より推し何れも信ずるに足らず究極の目的はソの手を借り失意の自己を[illegible]せんとする野心に外な[illegible]のと觀られて居る、今[illegible]を占領し勢に乘じた[illegible]三萬は吉聯合軍を『中堅』とする形勢にあり重大結果を豫想[illegible]る有樣である

馮の勸誘ある[illegible]
湯玉麟は洞ヶ峠を[illegible]

滿洲國に歸順の意を表し顧問謝呂西及び次子湯佐榮を密使として滿洲國に遣はした湯玉麟は現在四千餘の手兵を率ひ多倫、沽源の中間大灘附近にあるが、馮玉祥から自軍に參加を慫慂されつつある模樣なるも彼の優柔不斷なる性格から推し相變らず洞ヶ峠をきめこむものと思はれてゐる

祥討[illegible]
て[illegible]
權[illegible]

多倫占領に
我第一線部隊俄然緊張す
馮討つべしの聲高し

馮玉祥軍多倫占領の報に我が第一線部隊は俄然緊張し[illegible]

宋、[illegible]

官民多數の盛大な歡迎裡にローマに到着し、同地に暫く滯在學良その他と懇談の上伊太利船に便乘八月中旬歸國の豫定である

對[illegible]

〔東[illegible]

[illegible]債の追加豫算案をもつて來た、滿洲電信電話會社株の人氣は素晴らしいもので四十何倍かの勢である、滿[illegible]

四平街から
武道納會

[illegible]長）十二日午後四時三十[illegible]

有行

▲飯村中佐（參謀本部）十三[illegible]午後七時五十分來京

▲鄭國務總理十四日午前九[illegible]

人妻を誘拐して藝妓に賣る惡謀み
監禁中の女から救ひの急電
暑苦しい怪事件

言葉巧みに人妻を誘拐し藝妓に賣飛さんとして旅館の一室に監禁して奔走中を女が感づき救ひを夫に打電、虎口を逃がれた怪事件がある

市內東五條通七番地大工職井藤稔氏(三四)の內緣の妻後藤靜江さん(二八)は本年四月十八日から富士町五丁目四番地白石旅館に女中

『奉公』中、六月五日ごろから同旅館四十五號室に投宿した自稱大連西通石鹼行商人前田作夫(三三)が宿泊し一日二日と投宿してゐるうち靜江さんを言葉巧みに口說を落し遂に情交關係を結んだのを幸ひに女の弱身につけこんで同女を室に呼込み數回に亘つて關係を結んでゐたのを夫が發見し女は七日女中奉公をやめ自宅に歸つてゐたが十三日男は二十七歲

『前後』の仲居風の女を手先に靜江さんに旅館から用がある如く誘ひ連出したまゝその日夜になつても歸宅せぬため夫は心配し旅館に聞いて見たところ件の男も同日午前中出發してゐることが判明したため二人はドロンをきめこんだものとして夫は直に新京署に搜査願を出したが二十六日突如「自分は今騙され大連に誘拐され旅館の一室に

『監禁』同樣にされてゐる、近く藝妓に賣飛される」旨電報に接したので夫は驚いて妻が監禁されてゐる大連常盤町鹿兒島旅館にいたり妻を救ひ歸京したが、最近前田から頻々手紙が來るため夫は憤慨し同人を新京署に告訴したもので同署では極秘裡に取調べてゐる

轉々とつれ歩く
警察の目を暗ます爲

なほ前田は十三日靜江さんを呼出し脅迫し同夜四平街に下車し小松旅館に一泊し翌日奉天に行き十四日から三日間奉天ホテルに身をかくし續いて

『警察』の目を避けるため一カ旅館に轉宿し、十九日迄三日間宿泊、二十日大連常盤町鹿島旅館に宿泊、女を監禁同樣にしておき自分は金策に行くと稱し毎日外出してゐたが、夜分になると外部から電話があるがその樣子が面白くなく且つ自分を藝者に賣るべく協議してゐるをさとり二十六日前田が外出中を幸ひに女中を使ひ前記の如き電報を夫に宛て救ひを求めたものである

此頃の家政婦
八方から引張り合ひ
女の仕事として惡くない

滿鐵新京地方事務所社會係が家政婦斡旋の仕事を始めてまだ時日は淺いが、開始以來なかなかの好成績で引張凧の盛況である、現在登錄されゐる家政婦は全部で二十名、平均毎月四十五件の申込みはあるが、うち三十件位しか應ぜられない始末で、用向きは大抵出產或は主婦の病氣によるものが多く日給に雇入先が食事持で一圓二十錢乃至一圓三十錢、このほか家によつては多分の心附などもあつて決して惡くはなく、しかもかうした家政婦を要求する家庭は中流以上に多いから何事につけても惠まれてゐるので、一日が二日に三日が五日と長引きで家政婦は幾らあつても足りない始末である、と當局では語る

家政婦は今のところ幾らあつても結構です、當方さしては長期の雇入れが多く却つて弱つてゐます、待遇も食事は先方持ちでありそれに心附などもあつて女の方として決して惡くありませんからどしどし希望者の登錄を願つてゐます

映畫と講演の夕

十五六の兩夜七時から大滿蒙新聞社主催の澤岡信夫主演映畫「輝く我等がゆくて」十卷を上映し淺岡氏の映畫報國と題する講演があり、映畫と講演の夕が新京高女講堂で開催される料金は五十錢

運賃割引
見本市參加者に

十七日より三日間大連市に於て、二十八日より三日間奉天市にて開催の滿洲輸入組合聯合會主催第四回滿洲見本市に同會に於て招待する者に對し滿鐵では次の規定により運賃の割引をすることとなつた

一、割引區間
（イ）大石橋驛以南（營口驛を含む）社線各驛より大連驛行片道又は往復
（ロ）分水驛以北（撫順線安奉線各驛を含む）社線各驛より奉天驛行片道又は往復

二、割引期間
第一號(イ)のに對しては十五日より二十日迄
第一號(ロ)に對しては二十六日より三十一日まで

三、適用期間
第一號(イ)に對し券發賣の日より二十…で
第一號(ロ)に對して券發賣の日より八…

四、割引率 二等片…等往復二割引

將來戰に活躍する
電氣砲の性能
無音無煙で百發百中の偉力

□

電氣砲とはドンなものか、電氣砲と云ふのは、火藥の代りに全然電氣の力を以て彈丸を發射する火砲で、一千九百十六年佛國人フォーション、ビエブレー氏の創案に成つたものが現在比較的有望視されてゐる、それは電流を通ずると物體は磁場內に於ては移動するといふ原理、即ち電氣モーターの運轉と同一の理論を應用したものである

□

電氣砲は火藥を用ひる火砲に比べて甚大なる射程を得られることである、火砲の射程は彈丸の初速を大ならしむることによつて增大し得られるものである、火藥を用ゐる火砲にあつては、腔內壓力と溫度とを過度に大ならしむることが出來ない關係上、初速を著しく增大することが出來ないが、電氣砲にあつては此の不利が無い

□

電氣砲の特長は高初速を得らることで、火藥砲の初速一粁位に比し、約三粁であると云はれてゐる、したがつて飛行機射擊砲としては、彈丸が砲口を出て飛行機に命中する時間が非常に短縮されるので自然命中率が著しく增大する事が出來る

□

それから尙は八百粁からの長距離射擊を行ふに適してゐるから、これまで長射程砲を使用した同一目的に向つて用ゐることが出來る、八〇〇粁と云へば、佛蘭西國內に据付けたまゝ、伯林や羅馬を砲擊し得る勘定である、長射程砲と云へば直ちに彼の有名なるベルタ砲が想ひ起される、一千九百十八年三月獨逸軍は突然巴里の砲擊を開始した、この砲擊に用ひた大砲が即ちベルタ砲で、その射程は約百二十粁であつた、此の砲擊は約四ケ月間繼續されたが、物質的損害はサホド大ではなかつたが、脅威的效果は相當にあつた樣である、電氣砲がいよいよ將來戰場に働く樣になつたら、前述の飛行機射擊以外差當り此のベルタ砲の役目を勤めることであらう

□

電氣砲は少しも裝藥を要しない、又射距離の變化には一々射角を變更する必要もない、又彈丸の發射に當り無音且つ無煙で、敵にその位置を發見される虞れが少い、それに製造及び保存には頗る經濟的なる等甚だ利益が多い、ただ一つの缺點は大電流の必要な事である

民心の惡化と淨化
高島米

「醫者の不養生、紺屋の白袴」と昔から物のたとへにも引かれて居るが、誠に皮肉な現象であつて、それは今でもあらゆる階級に於て發見することの出來る事柄である。然り、あらゆる階級に於て發見することの出來る事柄ではあるがさりとてその故にそれを肯定しやうとするのでは斷じてない、ただ如何にも「人心惟れ危く、道心惟れ微なり」を悲しまざるを得…ある

國務大臣が、內閣さを往つたり來たりしいふやうなことでは、…れが事實であると無い…はず、社會風致を毒す…甚だしく、民心を淨化…如き到底思もよらない…好むところ、下これ…

自動車に吃驚
空馬車で躍り廻はる
通行中の親子に飛んだ災難
きのふ荒馬の狂奔

（夕刊既報）昨十四日午前十一時三十分ごろ東一條通消防隊前で馬車馬が狂奔し親子二名に重傷を負はした事件につき所轄新京署では加害者の

『特別』乘用馬車夫市內三馬路王恩(三三)を引致取調べの結果、同人は當日まだ慣れぬ荒馬一頭を加へ二頭立として公學堂前をぶらぶら客待ち中疾走して來た自動車に驚いて空車のまま忽ち狂奔し馬車夫が必死で制したが止まらず遂に消防隊前まで驅け廻り、折柄通行中の被害者曙町四丁目十二ノ四露店商人奧村氏父子におごりかゝつて重傷を負はすに至つたもので被害者は頭部を負傷した上に突然のことに仰天、人事

『不省』に陷つたものであること判明、なほ被害者はその後の經過順調でいづれも治療三週間を要する見込みである、なほ新京署では王恩につき過失傷害罪として引續き取調べ中である

豫防注射にゆく途中
近親者は語る

右につき近親者は語る

被害者親子はつひ十日程前に內地(岐阜縣)から來たばかりで、今晚から夜店でも出さうといふのがこんな事になつたわけです、當時の模樣を聞いて見ましたが何方頭部をやられたうへに二…

新京中央觀測所…と決定、來月上…萬圓の經費で着工…なり、觀測所長に…

衛戍病院…
全滿に誇るプール
滿鐵社會係…
但しこれは…

滿洲特有の炎暑に喘いでゐる市民に取つてのオアシスである西公園のプールも水饑饉の爲に

『本年』も閉鎖の止むなきに至つたので冷氣に渇した市民は懸箪池の水面を眺め其處より發散する涼をむさぼり辛うじて暑氣を凌いで居るといふ悲慘な狀況に鑑み、新京地方事務所社會係では來年度は是非市民渴望のプールを實現すべく種々の計畫を立案してゐる來年は本年の如き水不足は解消されるものと見られてゐるが、今度は位置の問題で現在のプールに新築軍司令部廳舍の道路に接近してゐる關係上場所が甚だ不適當となつた爲同係では新に衛戍病院裏の空地に約五萬圓を投じ全滿に誇る大々的プールを新造すべく既に滿鐵本社へ申請中で、これが認可を得れば來年の炎熱は幾分

『緩和』されるであらう、なほ認可なき場合は他に何等かの適當な方法を講じて市民の期待にそうべく考究するさ

チブス豫防藥
未服用者は早く
殘りなほ千個程あります

降りみ降らずみの梅雨季にいつた今日此頃人身の弱り果たにつけこんで猛威を振ふ傳染病は隔離病舍を滿員にふさぎ未然防止に汗みどろの活動を續けてゐる係員を尻目にかけ…を第…痘瘡二…ブスも此…ある九、十…患者の發生を…憂慮した消防隊…ス豫防錠の配布を…

けふは
清潔デ…

十五日は毎月行はれることになつてゐる清潔デーであるから市民は挙つてこれを行ひませう若し雨天だつたら順延して徹底を期したいと衛生係は希望してゐる都合によつては係官が各戶を巡視するからやり直しを命ぜられるやうな不名譽な事の無いやうに

吉凶禍福

△新京平安町二丁目九山內敬二氏次男康平さん、月出生
△新京富士町四丁目二二ノ二辰夫久吉氏長女芳子さん七日出生

滿洲國政府 獄政訓練規則

第一條　本則は獄政改進の見地より監所現職員に對し臨時召集し訓練を施すことを得

第二條　獄政訓練に關する事柄は本部刑司長にて監督辦理す

第三條　各監所職員を各期間に分ちて訓練す、其訓練を受くる人員及期別は本部にて指定す

第四條　講習科目は左の如し
服務規ﾃｨ、法學通論、刑法大要、滿洲國司法制度概要刑事訴訟法大要、滿洲國監獄制及現行監獄法規、監獄會計法規、監獄統計、監獄實務、語學（日、滿語）

第五條　訓練期間を四ヶ月とす

第六條　訓練時間を毎日六時間とし、必要に應じて增減することを得

第七條　學員には訓練期間中本俸以外に各人に毎月二十元の膳宿料を支給し、旅費は實費を支給す

第八條　毎月末修得科目に就き一回試驗を行ひ、訓練修了後は期間中に修得せる全科目に就き卒業試驗を行ひ證書を授與す

第九條　試驗成績は平均六十點以上のものを及第とす

第十條　訓練期間終了後は原任地に歸任するものとす、其成績の最優秀者或落第者は區別して辦理す

第十一條　敎授は刑司長より總長の許可を得て本部職員及最高法院廳、新京地方院廳判檢事中より選定任命し、必要の際は其の他の機關より聘任することを得

第十二條　本規則にて盡さゞる事柄ありたる場合は隨時修正することを得

第十三條　本規則は公布の日より施行す

ファン待望の 叫ぶアジア上映
十七、八兩日晝夜長春座

多大の期待をかけられてゐる關東軍參謀部原作伊藤大輔脚色、內田杜夢監督、藤原義江主演、島耕二、千葉早智子共演、滿洲獨立守備隊機關銃隊奉天航空隊滿鐵社員應援出演ロシア人、支那人等のエキストラ多數を使役した問題のオールトーキー『叫ぶアジア』は愈々上原演藝部の手で長春座に上映されることゝなつた

これは聖戰に殉じて藝術をすてた若き聲樂家の愛國物語りを配するに美しい匪賊の娘の純情なるその梗慨は

蒼茫と暮れかゝる滿洲の野を、南へ南へとひた走つてゐた歐亞連絡の國際列車は、ほの暗い夕闇の中で長槍と青龍刀とモーゼルをかざした匪賊のために包圍され非常警笛を聞いて我が日本軍の先驅車が駈けつけた時には、既に各國人四名の人質が拉致されて後であつた、人質となつた二名の外人と一名の日本人は冷酷な鞭の下に喘ぎながら幾日の曠野を數日間引き廻されて、やうやく北滿の或る部落、匪賊唐聚山の根據へと到着した、本陣は酒と女と歌とに、ごつたがへしてゐたが人質の四名は物置小屋で雌のやうに痛い寒風を防がねばならなかつた

その夢が明けて……唐聚山は人質を金と替へるべく四通の要求書を作り人質の署名を强要した、だがその中で、唯一人の日本人、歐洲からの歸途を襲はれた聲樂家藤野義人だけは、署名をどうしても肯じなかつた

そのため鞭は風を切つて鳴つた、靴は彼の身體に飛んだだが……

「この屈辱が日本人の俺にどうして忍べるものか」と藤野は目を瞑り、唇を噛んだそして遂に藤野は銃殺されることになつてしまつた陰慘な監禁室に銃殺の前の夜は明けて行つた

突然！藤野に救ひの手が伸びた、しかも支那服姿の美しい乙女が救ひ主だつた匪賊の目をかすめて村外れまで導いて來た乙女は、數日間の食糧をつけた馬と、一つの磁石を藤野にあたへた

南へ、南へ、どこまでも南へ！意外、乙女は凛とした日本語で云つた、驚きつゝも藤野は乙女の好意に無言で感謝し、敎へられたまゝ南へ！荒涼たる曠野を走つた、

そして漂泊の三日間食齒きる馬も斃れて唯死を待つのみとなつた時、天の助けか、遠くに鐵道線路を發見した藤野が我に歸つた時、彼は溫かい日本軍人の手に看護されてゐた、乘りすてられてゐたモーターカーを無意識で藤野は運轉してゐたがそこを北村少尉が發見して救つてくれたのだつた、歐洲に於て苦學中覺えた自動車の運轉が彼の身を助けたのだ

それから數日…藤野はすつかり元氣になつたが、突然北村部隊に出動命令が下つた、出動！强行軍！藤野は故國に歸るべく、この北村部隊に從つて數里離れた驛に向つたが粉骨碎身國家のために活躍する皇軍の勇士を鼓舞するため行軍しながら即興の「討匪行」を聲高く唄ひ始めた……ここまでつゞくぬかるみぞ三日二夜を食もなく雨ふりしぶく鐵兜……

反復して唄ふ歌、唯感激の歌だ、この歌に泣く者の中に苦力通譯として臨時に傭はれ從軍してゐる支那少年があつた、この少年こそ、かつて藤野を救つた匪首唐聚山の娘紅蘭で、彼女は母を日本人に持つてゐたゝめ日本戀しく、又藤野戀しく彼の後を慕つて來たのであつた

北村部隊は豫定通り小驛に到着したが、既にその時匪賊に遠巻きにされ危急は迫つてゐた

細碁の局勢
白に侵分らる憂あり
（六十一）　黑頭巾
却々大きい處

『九十三』の要點は、倒々白に先鞭されて仕舞つた。白は、出來る事なら『九十七』と飛んで見たいあるがさうすると黑が卽座に『九十四』と出切つて來るのが見え透いてゐるので、遺憾ながら白も『九十三』と控へた譯である。

そこで、黑は序に『九十四』と突き出さうと行きたいが、白はさうは參らぬと『九十五』へ粘ぐ。黑は九十六、と飛んで、中央部を封鎖したのである。

續いて、白『九十七』黑『九十八』白『九十九』黑（ロ）と交換して中央は一段落である。

これで、最早、大して忙がしい所もなくなつた。

漸く侵分に入つたのである。局勢は、何うやら微細な結果を想像させるやうである。

だが、こういふ碁になると、ウツカリすると、白に侵分られる憂ひがある。

黑は『□二』と約へ、白は『□二』と右邊へ斜走しこゝを何時迄も打棄ッて置くと黑から（い）と利かされて、（ろ）と受けてゐなければならぬ。

それ丈でも幾分の損である。で、黑は『□二』と約へ、白『□三』と覗き、黑は『□四』と粘いだ。

これは致し方もない處である黑はこゝを手拔きして、百か（は）と大斜走に辷り込まれては事である。

白は轉じて『□五』と押した。こゝは却々大きい處である。後で、機會が來れば、白（に）と綿ね、黑と約へ、白（へ）と縣け粘いでゐる。

さうすると、今度は、白が先手で（と）と綿ねた時に、黑は大概（ち）と緩めてゐなくてはならぬ。

それを、黑が無理に（り）と約へると、白は（ち）と切つて劫に行くかも知れぬ。

これでは、黑が、僅か一目を儲ける爲に、何ういふ結果を齎すか、一寸見當が付かぬ。

恐らくは、黑の割に合はぬ所であらう。

判斷に迷ふ

白『□五』の時に、そこは當分見合はして置いて、（ぬ）と黑『九十四』の周へ驅けて行くが、より良い處であつたかも知れぬ。

こういふ處の大小は、一寸判斷に迷ふものであ。

極微細に見えて、實は、却々難解な、餘程力量を要する所である。

で、多くの場合、まあ一種の感じで行くより外に仕方がないやうである。

細かい碁になると、殊に、こういふ場所の撰擇が勝敗に影響する事になる。

黑は『□六』と覗いた。これも可成り大きい所であるそこで白『□七』と附けたのは穩當な手である。

續に黑『□八』白『□九』黑『□十』白『□十一』となつて先手でこれだけ稼かされたのは餘分辛い處であつた。

圍碁新手合（四局の十）

三段　石塚行誠
七子　田中定吉

手	位置
九十九	ルノ七
百	チノ八
百一	ロノ十一
百二	ロノ十二
百三	ヘノ十一
百四	ヘノ十二
百五	ヘノ十八
百六	ルノ三
百七	ルノ二
百八	ヌノ三
百九	ヌノ二
百十	チノ三
百十一	リノ三

信仰に輝く ライオン齒磨工場

皓齒の時は美人の條件　八重齒やなすび齒が、可愛らしいと云つた時代は過去の夢で、美人の第一條件は明眸皓齒でなければならぬと云ふ事に、ヤングゼネレーションの趣味は一變した、先づ齒をきれいにと云ふ事は文化人の最も大切なたしなみになつたが「齒は齡に關せず」で保身健康上合理的で誠に結構な事である

×

皓齒の本家　はと聞けば誰れでも即座に「それやライオン齒磨き」と答へられる、成る程創業以來四十年一齋專心ハミガキを作り出し最善を盡し最良の品を作り出さうとしてゐるその眞摯さ敬虔さには自ら頭を垂れしむるものがある、これこそ世界に覇者たる今日のライオン歯ミガキを作り出した眞個の理由でなければならぬ

×

ライオン歯ミガキ口腔衞生事業と云ひ又社會的施設と云ひ他に見る事の出來ない美しい輝きがある、さればこそ近時販路益々擴大海外にまでその名を謳歌される所以である

×

ライオン歯ミガキ工場を見ての歸途何かしら心を打たれたものがあつた、これからはハをきれいにする丈けでなく、心まできれいにライオンハミガキでミガキませうと

云つても先づライオン齒磨の工場を參觀させてもらふ義務と責任があると感じたので、强ひて賴んで工場を見せてもらふ事にした

×

質實で眞劍な工場　同社工場の良い所はだんだんあるが先づ目を引いた事はごこまでも眞劍で質實な事である、東京には今模範的大工場の建築中で堂々たる三層樓近代式鐵筋コンクリート建の大工場が竣工の曉は大東京に一の名物を加へる事にならう大阪には粉齒磨をまさする分の健康に努んを拂つて來たライオンハ磨の貢獻は忘れるわけに行かぬ

近頃は「子供の時から齒を磨きませう」「寢る前にも齒を磨きませう」と二大モツトーを掲げ口腔衞生の徹底の爲め雄々しく奮鬪してゐる、かく觀じ來れば近代人の常識としても工場參觀の皮切りは何と工場とライオンハ刷子工場とがある之も近く神崎驛前の廣大な敷地に現代的施設を揃へた工場を建築せられる筈だから數年後には東西相呼應して素晴しい飛躍振りを示して吳れる事であらう

ぷんと匂ふよい芳香　工場の門を入ると清掃された敷地の何處からともなしになつかしい芳香が漂つて來る、朝と晩の齒磨を思ひ出させるすがすがしい匂ひが鼻の神經を躍らせる、

×

ライオン齒磨化學研究所、ライオン齒磨の誇りは今日のハ磨は昨日のハ磨でない更に明日のハ磨は今日のハ磨でないと云ふ進取的向上心である、いつも一番進歩せるハ磨を提供する事の誇りであるその原動力はこの研究所から生れるわけである研究所にはライオンハ磨化學研究所、細菌研究所の二つあるが、夫々多數の專門家が銘々分擔せる題目について脇目もふらずに研究にいそしんでゐる

×

原料の精撰　專門的な事は見てもよく判らないので、すぐ仕人部に案内を乞ふた所驚いた事には、こゝでは山の樣に運ばれて來るハミガキ原料を一袋、一瓶、一個宛實に嚴格に檢査されゐる事である、ライオン齒磨の規格に照して些細な點でもそぐはない所があれば淺慮なく不合格の內に入れられる、成る程之あるかな、かゝる嚴重なる檢査があつてこそ初めて責任ある優良なる製品も出來るわけだ さいたく感心させられた

×

製造工場內部の機構は素人ではよくわからぬが、臨時の設備だと技師長の謙遜な言葉にも不拘、原料の混台、藥品香料の配劑、チューブにキャップをつける所まで殆ど機械化されてゐる、機械から出て來る製品はベルトで運ばれ包裝場に廻る、こゝは又美しい女性の樂園で白衣の女性群が凛々しく立働いてゐる、こゝで外袋に入れられ或は外函に入れられ荷造場に送られ、すぐどんどん各地に積送される、最近は滿洲國を初め海外市場の注文激增の爲め工場は非常な活動を呈して全能力を發揮してゐる

×

信仰に根ざせる美しい男園氣こゝまで見て來てライオンハ磨の優秀性の因つて來る所を科學的に云へば、それは曰く研究の完全、原料の嚴撰、技術の洗練等々列擧する事が出來るが、記者をして云はしれば、眞似て眞似られぬライオンハミガキ獨特のものはその工場全体を包む淸い信仰の流れから出て來る成る者だ、仰信に根ざせる所一人の異端者もなく、各自その持場持場を天職と心得て・一心不亂に

變幻黑船往來

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百五回

桃色の船室（五）

格之進の、われしらず洩らした愛慾情戀のうめきをモリエールはきゝとがめた。

『おう、誰かこの室にをりますね』

くぼんだ、大きな碧い眼は、疑ひ深さうに邊りを見廻した。

『いゝえ、誰もゐません』

お愛は、少將の膝に腰かけながら、いたづらさうな眼つきでさりげなくいつた。

『いや、あなたうそいふとためになりませんぞ』

『でも、さつきから誰も參りませんもの……』

少將は憤然として椅子を立上つた。

『いけません、あなた……』

彼女は、こびの全量を瞳にうかせて相手の手をとつた。

『離しなさい』

『いゝえ、あたし、氣が滅入つてなりませんの……ね、あなた、あたしにお酒のまして下さいな』

舌にもつれるやうなあまやいた聲で少將を魅惑しようとするが、

『あなた、酒のむか……よろしい邪魔者をつまみ出してからにしませう』

彼はづか／＼とベッドの方へ歩いていつた。

いよ／＼格之進は體絶絶命だ。

『おい！出ろ！』

彼は突立つたまゝほえた。

お愛は觀念して寢椅子のうへに横になつた。

『出ろ！』

彼の右手にはいつのまにか短銃が握られてゐた。

お愛は身ぶるひした。

『出ろ！』

みたび吠えつかれて、やつとベッドの下の□者はそれへ顔を出した。少將はその眼前に短銃を突つけた。

格之進は短銃をみると、急に怖氣ついて、またすご／＼とベッド[illegible]を潜めた。

そして、考へた。

——おれは、いま殺されるのだぞ。おれは、さつきお愛に向つておまへの見てゐる前で殺されるのが本望だといつた。けれど、いま殺される段になつて、おれは急に死ぬのがいやになつた。なぜだ。……あの短銃がこわいのではない。お愛の美しい顔を、あかず眺め、ほんたうに自分のものにしたいからだ。さうだ。おれは殺されてはならぬぞ。おれは生きやう。生きるのだ！

格之進は、反撥的に五體に勇氣があふれるのを知つた。彼はベッドの下に腹這ひになりながら、ふところにのんでゐる短刀の鞘を拂つた。

『？……』

ベッドの前に突立つてゐる老提督は頻りにわめいてゐる。格之進はニヤリとすごい笑をもらした。

それから……。

彼は短刀をうしろ手に隱してベッドの下から這ひ出し、矢庭に老提督の前に立ちふさがつた。

『誰だ！おまへは？』

あまりだしぬけだつたので、モリエールは、たぢ／＼となつた。ピストルの引金を引く段ではない。

と、その隙をみて格之進は、いつもの彼らしくなく、猛然と少將の胸元めがけて短刀を突いた。

老提督モリエール少將の手に握られた短銃は、空に向つて轟然となつた。

たゞそれだけで、少將は、仰向けにあかい絨氈のうへにもろくも倒れてしまつた。

じきに少將の胸が血に染められた。

老提督が血に染つて倒れたのをみて、氣がゆるんだのか格之進もそのまゝ寢椅子のうへに腰を落してしまつた。

『お愛、お、おまへも死んでくれ』

溜息のやうに洩らすその言葉にわれから醉ふてゐる[illegible]である。

胃病の中で一番多い　胃擴張の病理と手當

その症狀は　胃部が常に重苦しい、食慾が起きない、ちよつと食べても、直ぐ滿腹感が起る、時にあくびが出、吐氣がある、食後胃部がグウグウ鳴る、胃がもたれる等々がその主なるものです

十三世紀初葉の藥劑師

三十歳以上の日本人は、凡て胃擴張患者だといつたら、驚く人もありませうが、平生消化不良だとか胃弱だとか云つてゐる人を、調べて見ると、胃擴張に罹つてゐる場合が、非常に多いのです。例へば胃部が重苦しくて

食慾が無いとか、少し食べると直ぐに滿腹感を起して思ふ半分も食べられないとか、厭な臭のある噯氣が出たり、嘔氣があつたり、又食後鳩尾がぐう／＼鳴つて、不愉快な、もたれる氣持がするとかいふ樣な人は、まづ胃擴張と見ていゝので、放つて置くと貧血や早老の原因となり、又屢々結核性の諸症を惹起したりします。

元來胃腸が食物を消化して、體內に吸收する物と、體外に糞便として排泄する物とに分解し、また血や肉にするのに、便利な形に變へたりするのは、凡て體細胞中に生成される、酵素といふ成分の働きによるので、若しこの酵素が無くなると、胃腸は油の切れた機械同樣、忽ち活動を止める許りか、第一生命が無くなります。

胃擴張には大體、三つの型がありますが、その何れも病原は、

胃壁の細胞障碍によつて、酵素作用が衰へてゐるので、三つの型の中で第一は、アトニー性筋肉弛緩といひ、長い間の無理から、胃壁筋肉が無力となり、食物を消化して腸へ送る事が出來ないものです。

第二は幽門狹窄症といつて、前者とは反對に、胃と腸との境に腫張を起し、食物が胃中に停滯して胃壁に障碍を起すものです。第三は一時的の暴飲暴食の爲に、胃壁が障碍されて衰弱する場合です。

第三の場合は別として、第一第二の場合は、長い間にじりじりと來た障碍ですから、治療も非常に

スターゼやペプシン等の消化劑や、胃壁を刺戟する爲の、ストリキニーネや苦味劑等を服んで見ても、習慣になると効かなくなります、又胃洗滌なども、一時は氣持が快くなりますが、是は醫師の手でなければ行つて危險です。

然し、結局さういふ對症療法は、みな油の切れた齒車を、無理矢理に動かして見る樣なもので、圓滑に運轉する譯がありません。

全治するにはどうしても病原に入つて、細胞に活力を與へそれによつて、機能の恢復を圖るより他はないのですが、遺憾乍ら從來、さういふ良い療法が無かつたのです、所が最近ヘーフエといふ藥用菌を以て、慢性病を病原から癒す方法が、獨逸の學者によつて發見され、長い間の胃擴張、胃下垂や、胃潰瘍までも、癒つたといふ實例が澤山有ります。

此はヘーフエ菌中に、人體細胞中の酵素と同樣な物質が、幾種類も含まれてゐるのを利用し、此を病細胞に補給して、衰へた機能を原因的に恢復させる方法なのですが、ヘーフエ菌中には其他、各種のヴイタミンを始め、人體に必要な凡ての榮養素があり、丁度一劑で、胃腸藥と榮養劑を兼ねた効果があるので、從來の單一の化學劑などと違ひ効目が綜合的で、つまり油もさせばガソリンも補給するといふ譯ですから、ひどい慢性病も自ら快くなつて來るのです。

この驚くべきヘーフエ菌を、最も巧みに製劑したのが、我國では有名な澤村博士の「錠劑わかもと」であります。

幼兒の大便で病氣が判る

綠色便は脚氣か消化不良

同じく幼兒の大便といつても、母親の乳を飲んでゐるのと、牛乳や重湯で育つてゐるのと、稍大きくなつて固形物を食べてゐるのとでは、其性狀も自ら違ひます。

母親の乳を飲んでゐる子供の便は、卵の黄味の樣な色で、一樣に軟かな膏藥位の硬さを持つてゐますが、牛乳や重湯の、所謂人工榮養兒の便の、色は稍淡く硬さは幾らか硬いのが普通です。又固形物を食べる樣になると杜樣便といつて形のある便を出します。

所が幼兒が消化不良を起したり脚氣に罹つたりすると、大便の狀態が直ぐに變つて來て、先づ黄色が青みを帶び、或はほんとの綠色となり、又顆粒があつたり、粘液が混つたりして、指で摘むと絲を引く樣になつて來ます。

この幼兒の消化不良や脚氣は、大人の胃腸病とは違つて、全身的の障碍であつて、その手當が遲れると、取返しのつかない事になります。殊に人工榮養兒の消化不良は恐ろしいもので、我國の乳幼兒の死亡數の過半は、これでやられます。そして我國の乳兒死亡率は文明國中で第一であります。原因は

母親の不注意が主で起る食餌の不適當などが主で、それが不知不識の間に來るのです。殊に梅雨期から炎暑にかけては、罹らぬ幼兒はないと云はれる位ですから、適切な療法と同時に、平素から少し位の無理には堪えられる樣な、丈夫な體質を養ふ必要があります。

療法としては、澤村東京帝大名譽教授が、最新の酵素療法の原理に基いて、創製された「錠劑わかもと」が、第一に用ひられてゐます。此藥の特徴は、ヘーフエといふ活性菌の、驚異的な力を、巧に利用した點にあつて、乳幼兒の發育にも、少なからぬ効果があります。

ヘーフエ菌中には、病細胞に活力を與へて、障碍された機能を病原から恢復する、酵素といふ物質を含んでゐる上に、幼兒の成長に必要な、凡ゆる榮養素を兼備してゐますから、治療用として迅速な効果が有るのは勿論、引續き服用させれば、體質そのものを改造する事が出來るのです。

猶特記すべき事はヘーフエ中に脚氣に卓効のあるヴイタミンBを、最も豐富に含んでゐますから、乳幼兒脚氣に對して、何時も他劑に見られない効果を、示してゐる點であります。

右の「錠劑わかもと」は二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓で、東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から頒布され、全國藥店にもあります。

母親のない—虚弱乳兒を男手一つで

（東京）杉本吉夫

昨年九月十八日愛妻は、乳兒を殘して（中略）歸らぬ旅に赴きました。殘された乳兒は、出産後未だ一ケ月も經たない、全くの赤兒で（中略）今後如何にして男の手一つで、この乳兒を育てて行くかと一、時は茫然自失の態でありましたが、其後乳兒を育てた經驗者達に（中略）色々參考になる事や、實際に良いといふ方法を聞き、滋養強壯劑と稱する數多の材料を買ひ集め、種々試みましたが、生れ付き虚弱の性か、段々痩せる一方で、泣く聲なども眞に力無く（中略）飲みました乳は度々吐瀉し、顏色は蒼ざめ手足は細く（中略）此兒も遂に母親の後を追ふものと覺悟して居りましたが、長男ではあり、初めて得た第二世を——と思ふと

（中略）夜中も二時間毎に、御襁褓の取換へや、乳の溫度濃度の鹽梅等を見るので、殆どまんじりともする暇はありませんでした。

（中略）連日連夜の過勞と睡眠不足等で、遂に私も胃腸を損ね、すこぶる健康勝れぬ爲、親戚より手傳ひを頼み、兼ねて友人より、自分の體驗上「錠劑わかもと」が發育並に榮養不良などには、最も効力顯著なる事を聞き（中略）最後的諦めと思つて、親子が連日服用してみました所、私の恢復は最も早く乳兒も二瓶目を用ひる頃から、吐瀉もなく、段々肉はつき、顏色も良く、只今では全く健康の紅味を帶び、一時絶望の淵に臨んだ乳兒も「錠劑わかもと」に因つて、再生歡喜の只今を迎へ得た事を私等親子は感謝して止みません。